

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日		行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2025年				
10月	20日（月）	環境技術学会第25回年次大会および講演会	大阪	48巻9号
	21日（火）	第31回膜分離技術セミナー	東京	本号
	25日（土）～26日（日）	日本腐植物質学会第41回講演会	岡山	48巻9号
	31日（金）	有機フッ素化合物等の化学物質を巡る課題と技術革新の現在地	東京	48巻9号
11月	4日（火）	グリーンサイエンス21 第15回「みんなの水道」（水の文化を語る）	東京	48巻9号
	12日（水），13日（木）	第38回日本吸着学会研究発表会	大分	48巻9号
	20日（木）	海水資源・環境セミナー2025	千葉	本号
	27日（木）～28日（金）	日本膜学会「膜シンポジウム2025」	大阪	本号
	28日（金）	令和7年度日本水環境学会中部支部研究発表会および講演会	福井	本号
	29日（土）	公開シンポジウム： 「水辺のすこやかさ指標」のグローバルな取り組みを目指して	東京	本号
12月	12日（金）	第63回高分子と水に関する討論会	東京	48巻8号
	19日（金）	水・大気環境連携セミナー2025 ーデータで切り拓く環境研究の未来ー	東京	本号
2026年				
3月	9日（月）～11日（水）	第60回日本水環境学会年会	東京	本号
7月		WET2026 (Water and Environment Technology Conference 2026)	京都	

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ（<https://www.jswe.or.jp/member/>）よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール（member@jswe.or.jp（@は半角））またはFaxにてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。なお、学生会員は年度ごとの資格ですので、2024年度の学生会員は2025年3月末日に失効になりました。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト（<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>）をご覧ください。

本会関連行事

第60回 日本水環境学会年会 研究発表申し込み案内

第60回日本水環境学会年会を、下記の通り開催いたします。多数のご発表をお待ちしております。なお、発表の採否は年会実行委員会にて決定いたしますので、あらかじめご了承ください。

1. 開催概要

内 容 一般研究発表（口頭発表・ポスター発表）
期 日 2026年3月9日（月）～11日（水）
会 場 中央大学 多摩キャンパス（対面開催のみ）
住 所 東京都八王子市東中野 742-1
交 通 多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」直結
詳 細 <https://www.chuo-u.ac.jp/access/tama/>

2. 一般研究発表の募集

対 象 水環境に関する調査・研究成果（別表参照）
応募資格 本会会員に限る
登壇資格 正会員（個人・団体）、学生会員、国際連携会員
※登壇予定者は2025年10月31日（金）までに入会手続きを完了してください。
※申請中の場合は、会員システムにログインできないため、発表申し込みが行えません。
※学生会員は自動継続されません。2025年度の、再入会手続きを行ってください。
※1名が複数演題に登壇者として申し込むことはできません。

【申し込み方法】

発表申し込みは、本会の発表申し込みページからのみ受け付けます。

申込締切：2025年11月19日（水）23:59（※期限厳守）

会員番号は、新会員番号となります。

8桁（例：2025XXXX）です。

登壇者本人が会員ページにログインし、申し込みを行ってください。

研究内容は、最新の分類表にしたがって選択してください。

発表形式は「口頭」「ポスター」「どちらでも可」から選択可能です。

発表申し込み・講演要旨・当日の発表は、すべて同一言語（日本語または英語）で統一してください。

その他、申し込み方法の詳細につきましては、ホームページをご確認ください。

【発表形式・時間】

口頭発表：PowerPoint 使用、15分（発表10分＋質疑応答5分）

ポスター発表：指定時間内に現地掲示、討議時間あり

【講演集原稿の提出】

原稿は学会指定のテンプレートを使って作成してくだ

さい。

対 象 口頭・ポスター発表ともに要旨原稿提出必須

枚 数 A4判1枚（図表含む）

提出方法 会員システムページより提出

ファイル形式 PDF（1～2MB 以内）

提出期限 2026年1月14日（水）23:59（期限厳守）

著 作 権 講演集掲載要旨の著作権は本会に帰属

【講演集の電子版配布】

講演集は電子ファイル（ダウンロード方式）で配布いたします。

公開予定日：年会開催の1週間前

冊子の購入方法につきましては、ホームページをご確認ください。

3. 参加申し込み

年会の参加申し込み案内は、学会誌12月号およびホームページに掲載予定です。登壇者は必ず参加申し込みを行ってください。

【問い合わせ先】

（公社）日本水環境学会 第60回年会係

Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

「年会優秀発表賞（クリタ賞）」候補者の募集

第60回日本水環境学会年会では、博士前期課程（修士課程）の大学院生を対象とした「年会優秀発表賞（クリタ賞）」の受賞候補者を募集します。多数のご応募をお待ちしております。この賞は、「公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

なお、開催方法によっては審査および表彰の方法が変更となる場合があります。

■対象：博士前期課程（修士課程）の学生会員による口頭発表

■応募方法・スケジュール：学会ホームページをご確認ください

■備考：受賞者は、毎年5月に募集される国際会議発表助成の候補対象となります

問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 年会優秀発表賞（クリタ賞）係

Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

「年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）」 候補者の募集

第60回日本水環境学会年会において、学部生、高等専門学校生（高専生）、短大生を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数の方々の応募をお待ちしております。この賞は、「ライオン株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

開催方法によっては審査方法、表彰方法に変更がある可能性があります。

別表 日本水環境学会年会 研究発表分類表

分類／Classification		キーワード例	Examples of Keywords
1	流域、河川、湖沼 Watershed, river, and lake	懸濁物質、有機物、栄養塩類、無機イオン、重金属、農薬、汚濁負荷、ポイント・ノンポイントソース、富栄養化、貧栄養化、自然浄化、底質、赤潮、藻類、プランクトン、魚類、生育場、気候変動、生態系サービス、モデル予測、環境基準など	suspended solid, organic matter, nutrient, inorganic ion, heavy metal, agrochemical, pollution loading, point/non-point source, eutrophication, oligotrophication, natural attenuation, sediment, red tide, algae, plankton, fish, habitat, climate change, ecosystem services, model prediction, environmental quality standards, etc.
2	海域、沿岸 Sea and coast		
3	土壌、地下水 Soil and groundwater	湧水、有機物、栄養塩類、無機イオン、重金属、農薬、浄化機構、気候変動、モデル予測、環境基準など	spring water, organic matter, nutrient, inorganic ion, heavy metal, agrochemical, remediation mechanism, climate change, model prediction, environmental quality standards, etc.
4	水圏生態系 Aquatic ecosystem	植物プランクトン、動物プランクトン、水生植物、魚類、ベントス、藻類、赤潮、富栄養化、貧栄養化、自然浄化、生育場、気候変動、生態系サービス、モデル予測など	phytoplankton, zooplankton, aquatic plant, fish, benthos, algae, red tide, eutrophication, oligotrophication, natural attenuation, climate change, habitat, ecosystem services, model prediction, etc.
5	上水処理 Drinking water treatment	水源、有機物、臭気物質、微量化学物質、健康関連微生物、凝集沈殿、ろ過、膜、吸着、消毒、海水淡水化、リスク評価など	water source, organic matter, odorous compound, micropollutant, health-related microorganisms, coagulation sedimentation, filtration, membrane, adsorption, disinfection, seawater desalination, risk assessment, etc.
6	排水処理（生物学的） Wastewater treatment (biological)	活性汚泥法、オキシデーションディッチ法、嫌気性処理、生物膜法、生物活性炭、嫌気性消化、生物処理モデルなど	activated sludge process, oxidation ditch process, anaerobic treatment, biofilm process, biological activated carbon, anaerobic digestion, biological treatment model, etc.
7	排水処理（物理化学的） Wastewater treatment (physicochemical)	凝集沈殿、ろ過、膜、吸着、塩素、オゾン、紫外線、電気処理、促進酸化処理、人工湿地、物理化学的処理モデルなど	coagulation sedimentation, filtration, membrane, adsorption, chlorine, ozone, UV, electrolytic treatment, advanced oxidation process, constructed wetland, physicochemical treatment model, etc.
8	汚泥・廃棄物処理 Sludge and waste treatment	嫌気性消化、メタン発酵、減容化処理、バイオマスエネルギー変換、下水汚泥、畜産廃棄物、コンポストなど	anaerobic digestion, methane fermentation, volume reduction, biomass energy conversion, sewage sludge, livestock waste, compost, etc.
9	資源回収、気候変動対策 Resource recovery and climate countermeasures	窒素・リン、希少金属、省エネ、熱回収、メタン発酵、水素発酵、微生物燃料電池、産業排水など	nitrogen phosphorus, rare metal, energy conservation, thermal recycle, methane fermentation, hydrogen fermentation, microbial fuel cell, industrial waste water, etc.
10	マイクロプラスチック、PFAS、微量化学物質 Microplastic, PFAS, and micropollutant	プラスチック、有機フッ素化合物、無機イオン、農薬、環境動態、リスク評価、モデル予測など	plastic, PFAS, inorganic ion, agrochemical, environmental dynamics, risk assessment, model prediction, etc.
11	毒性評価、健康影響評価、環境分析技術 Toxicity and health effect assessment, and environmental analysis technique	健康関連微生物、細胞毒性、変異原性、生物濃縮、指標生物、生態系影響、内分泌攪乱作用、リスク評価、化学分析、バイオアッセイ、機器分析など	health-related microorganisms, cytotoxicity, mutagenicity, bioaccumulation, index organism, ecosystem impact, endocrine-disrupting effect, risk assessment, chemical analysis, bioassay, instrumental analysis, etc.
12	環境文化、環境教育、国際協力 Environmental culture and education, and international cooperation	自然再生、環境保全活動、環境学習、地域参加、文化交流など	regeneration of nature, environment conservation activity, environmental learning, community involvement, cultural exchange, etc.

■対象：学部生、高専生、短大生によるポスター発表

■応募方法・スケジュール：学会ホームページをご確認ください。

問い合わせ先

（公社）日本水環境学会

年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）係

Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

海外在住外国人会員の年会発表に対する 費用助成制度「国際招聘賞」

JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award

第60回 日本水環境学会年会の助成対象者の募集

本会では、水環境分野の国際交流・国際協力の促進を

目的として、本会年会で研究発表を行う海外に在住する外国籍の個人会員・国際連携会員に対して、来日費用等の助成を行っています。

2026年3月に中央大学多摩キャンパス（東京都）で開催される第60回年会での研究発表予定者から、助成の対象者を下記のとおり募集します。奮ってご応募ください。

この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

応募方法等の詳細につきましては、WEBページにてご確認ください。

問い合わせ先

Committee on Overseas Member Invitation Program
Japan Society on Water Environment

E-mail：kokusai@jswe.or.jp（@は半角）

水・大気環境連携セミナー2025 ーデータで切り拓く環境研究の未来ー

水・大気環境の両分野に関わる研究機関間の連携促進を図ると共に、地域環境研究の今後のあり方に関する議論を深める場として、水環境・大気環境両学会の連携セミナーを開催いたします。今回のセミナーでは「データ」をキーワードとして、伝統的なモニタリングデータの活用、新たな測定手法による解析、新たな予測手法の適用などについてご講演いただきます。さらに、環境データを通じた地環研等における研究連携の展望などを通じて、データサイエンス時代における環境研究の未来について考えていきます。

主 催 日本水環境学会、大気環境学会

共 催 全国環境研協議会、東京都環境科学研究所、
埼玉県環境科学国際センター

後 援 環境省（予定）

期 日 2025年12月19日（金）13:00～16:30

方 法 ハイブリッド形式（対面会場＋オンライン）

場 所 自動車会館（東京都千代田区九段南4-8-13、
市ヶ谷駅から徒歩2分）

プログラム

〈開会挨拶〉 中井里史（横浜国立大学）

〈特別講演〉

環境監視・調査におけるデータの「 」について
吉本隆寿（環境省）

〈講演〉

国環研と地環研とのⅡ型共同研究のこれまでとこれから
菅田誠治（国立環境研究所）

リン酸パッシブサンプラーの開発と湖沼底泥からのリン
溶出速度の推定 羽深 昭（北海道大学）

ローコストセンサーを用いた大気環境計測の基礎と応用
中山智喜（長崎大学）

下水情報の徹底活用による「街のヘルスケア」を実現
する次世代環境モニタリング技術

佐野大輔（東北大学）

機械学習と環境データを用いた大気質予測：手法と適
用事例 荒木 真（大阪大学）

社会経済シナリオの統計的ダウンスケールと災害リス
ク評価への応用 村上大輔（統計数理研究所）

〈総合討論〉 今村隆史（東京都環境科学研究所）

〈閉会挨拶〉 今井章雄（埼玉県環境科学センター）

定 員 現地100名程度、オンライン最大500名程度

参加費 無料

申込方法 〈<https://jswe-local.org/seminar.html>〉から
オンライン申し込み

問い合わせ先

国立環境研究所 小野寺 崇 Tel：029-850-2494
埼玉県環境科学国際センター

米持真一 Tel：0480-73-8369

E-mail：seminar@jswe-local.org

令和7年度 日本水環境学会中部支部研究発表会 および講演会の開催

日本水環境学会中部支部では支部会員および関連団体の技術研鑽と情報交換を目的に令和7年度日本水環境学会中部支部研究発表会および講演会を下記のとおり開催します。とくに、大学学部生、大学院生、若手の社会人研究者の方々のご発表を歓迎します。優秀なポスター発表に対しては表彰を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

主 催 日本水環境学会中部支部

期 日 2025年11月28日（金）12:30～16:30

場 所 福井県国際交流会館
（福井県福井市宝永3丁目1-1）

プログラム

12:30～ 研究発表会

14:30～ 講演会「自然の機能を活用した環境負荷低減
ー埋地浸出水、PFAS等への適用に向けて
ー（仮）」 国立研究開発法人国立環境研究
所 尾形 有香氏

16:00～ 研究発表会表彰式

参加申し込み方法

申込書等はメールで以下へご請求ください。

参加申込締切

発表申込：9月24日（水）～10月24日（金）

参加申込：9月24日（水）～11月7日（金）

参加費 無料（ただし、事前申込みが必要です。）

問い合わせ先

日本水環境学会中部支部事務局
（福井県衛生環境研究センター）

〒910-8551 福井県福井市原目町39-4

Tel：0776-54-5648 Fax：0776-54-6739

E-mail：zenkanken-f@pref.fukui.lg.jp

公開シンポジウム：「水辺のすこやかさ指標」の グローバルな取り組みを目指して

主 催 日本水環境学会東北支部水辺のすこやかさ指
標研究会・関東支部

共 催 公益財団法人 水・地域イノベーション財団

期 日 2025年11月29日（土）13:00～17:00

場 所 TKP 東京駅カンファレンスセンター・カンフ
ァレンスルーム10B

開催形式 対面とオンラインのハイブリッド形式

参加お申し込みの方に後ほどオンライン
（Zoom）の接続先をメールでお知らせします。

プログラム

【開会挨拶】

日本水環境学会東北支部水辺の健やかさ指標研究会
代表 矢野 篤男

【基調講演】13:05～13:55

『英語版“Water Environment Soundness Index (MIZU-SHIRUBE)”の活用に向けて』

中央大学 古米 弘明

『みずしるべの普及に向けた環境省における検討状況』

環境省 鍛冶 尚寛

【話題提供】13:55～15:50

『ボリビアにおける水辺のすこやかさ指標の適用の可能性』

東北大学・JICA 根立 隆志

『インドにおける水辺のすこやかさ指標の活用事例』

(株) 日水コン 前田 千夏

水・地域イノベーション財団 清水 康生

『ベトナムにおける水辺のすこやかさ指標の適用の可能性』

元北九州市水道局 原口 公子

～ 休憩 (15 分) ～

『横浜市における取組について』

横浜市 田中 康平

『水辺のすこやかさ指標の課題と展望について』

山梨県立大学 風間 ふたば

■《総合討論》15:50～16:50

司 会

中央大学 古米 弘明

閉会挨拶 16:50～17:00

日本水環境学会関東支部長 中央大学 西川 可穂子

参 加 どなたでも参加は自由です

参加費 無料

交流会 シンポジウム終了後に開催を予定しています

詳細 URL <https://jswetohoku.jp/>

参加申し込み・問い合わせ先

東北工業大学都市マネジメント学科 矢野篤男

E-mail : yano-t@tohtech.ac.jp Tel : 022-305-3961

(会場参加 または Web 参加を選択ください)

参加費

膜分離技術振興協会会員企業 10,000 円,

非会員企業 12,000 円, 地方自治体および

学生 5,000 円

申込等詳細 URL <http://www.amst.gr.jp/>

問い合わせ先

一般社団法人 膜分離技術振興協会

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-12-11

東日本橋 TS ビル

E-mail : info@amst.gr.jp



海水資源・環境セミナー2025

主 催 日本海水学会 海水資源・環境研究会

協 賛 (公社) 日本水環境学会 他

期 日 2025 年 11 月 20 日 (木) 13:30-17:10

場 所 千葉工業大学津田沼キャンパス (教室調整中)

プログラム [1] 微細な化学層序から探る南鳥島マンガ
ンジュールの成長過程 (町田 嗣樹 氏), [2] Solar
Desalination ; 太陽光利用による海水淡水化 - 私の研究 -
(仮題) (藤原 正浩 氏), [3] 逆浸透膜を長寿命化する脱
塩性能回復技術 (伊藤 嘉晃 氏), [4] 海藻「カギケノリ」
による温室効果ガス削減とその大量培養技術開発 (久保
田 遼 氏)。それ以外は以下詳細 URL をご参照ください。

申し込み方法 弊会 HP からお申し込みください

参加申込締切 2025 年 11 月 7 日 (金)

参加費 一般 4,000 円, 学生無料 (定員 70 名)

詳細 URL <https://swsj.org/2025/08/19/seminar-on-marine-resources-and-environment-2025/>

問い合わせ先

日本海水学会 海水資源・環境研究会事務局 (邑上)

Tel : 0465-47-3161 E-mail : shigen@swsj.org

日本膜学会「膜シンポジウム2025」

主 催 日本膜学会

協 賛 日本水環境学会, 化学工学会, 高分子学会, 日
本化学会, 日本化学連合, 日本海水学会, 日本
薬学会

期 日 2025 年 11 月 27 日 (木) ～28 日 (金)

場 所 関西大学 100 周年記念会館

(〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35)

プログラム 本年度の主題は“膜を究める”とし, 人工
膜・生体膜・境界領域における膜の研究者が深く議論し
合うことで, “膜学”をさらに発展させることを目的とし
ます。本会の理念である人工膜・生体膜・境界領域の融
合を目指し, 膜に関連する研究者・技術者が一堂に会し
て, 多様な視点から活発に意見を交換し合う場にしたい
と考えています。皆様奮ってご参加ください。

申し込み方法 <https://2025sympo.peatix.com/>

他学会関連行事

第31回 膜分離技術セミナー

主 催 一般社団法人膜分離技術振興協会

期 日 2025 年 10 月 21 日 (火) 10:00～16:30

場 所 レンタルスペース パズル浅草橋 3 階 B 会議室
東京都台東区浅草橋 5-2-3 鈴和ビル および web
開催 (Zoom 使用)

プログラム

膜および膜分離技術の基礎と応用を初心者や現場技術
者の方々などを対象に解りやすく解説するセミナーです。

申し込み方法

「申し込みフォーム」に必要事項を
ご記入いただきお申し込みください。

申し込みフォーム URL

https://www.amst.gr.jp/entry1/?post_id=1496



参加申込締切 2025 年 11 月 17 日 (月)

参加費 主催団体・協賛学会員：9,000 円 (不課税),
学生 5,000 円 (不課税), 会員外：27,500 円 (税込)

詳細 URL <https://www.maku-jp.org/conference/article/BA19VUwg>

問い合わせ先

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-26-5-702

日本膜学会

Tel : 03-3815-2818

E-mail : membrane@mua.biglobe.ne.jp

お知らせ

2025 年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は、水環境関連分野の学術の発展に功績があった、あるいは本会に対しとくに功労があった満 70 歳以上の会員を、総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員推薦内規により、会員は名誉会員候補者を推薦できることになっております。

なお、海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては、学会事務局にお問い合わせください。

2025 年度「学会賞」、「学術賞」 の受賞候補者の推薦について (募集)

これらの賞の選考については、それぞれの選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお、学術賞に関しては、年齢制限はありません。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

〈学会賞〉

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において、とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度 (2025 年度) において満 60 歳をこえる者
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②推薦理由書 (2,000 字以内)、③参考資料等、④推薦者の氏名、住所、所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文、著作、学術的研究成果がとくに優れた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員であること。年齢制限はありません。
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②対象とする研究成果、③推薦理由書 (2,000 字以内)、④参考資料等 (論文、著作の一覧等)、⑤推薦者の氏名、住所、所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。

なお、参考資料の論文、著作の一覧は査読つき論文、学会プロシーディングス、解説、著作などを明確に整理し、推薦理由書等の資料は電子媒体での提出をお願いします。

提出期限 2025 年 11 月 28 日 (金)

提出先

(公社) 日本水環境学会「学会賞」、「学術賞」係

E-mail : award@jswe.or.jp

2025 年度「技術賞」および「技術奨励賞」 候補者の推薦について (募集)

本会では、以下に示したような技術賞および技術奨励賞を設け、対象となる個人または団体を毎年表彰しております。受賞者 (または団体) は、本学会誌ならびに学会 HP に受賞者 (または団体) 名とその技術の受賞理由等についての記事が掲載され、その功績が広く周知されます。

つきましては、下記の要領にて、会員からの技術賞もしくは技術奨励賞候補者の推薦をお願い申し上げます。「推薦」は自薦他薦を問いません。選考委員会にて、推薦内容を十分審議の上、技術賞、技術奨励賞いずれかの相応性も含めて選考されます。

●技術賞

水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術 (調査内容、方法) の新規性や実績 (たとえば処理技術の場合には実機実績等) 等を加味して総合的に判断されます。

●技術奨励賞

水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術や調査研究の新規性のほか、学会発表や論文等で発表した成果や調査事例、パイロット試験結果等を加味して総合的に判断されます。

被推薦者・推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人
提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会 HP よりダウンロードしてお使いください。また、各書類は pdf ファイル形式で提出先メールアドレスへお送りください。

<https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/index.html>

- (1) 被推薦者の氏名、住所、所属 (団体の場合は名称および代表者名)、電話番号、E-mail、略歴等 (連名の場合、被推薦者の役割分担を明記)
- (2) 対象とする技術または調査研究名 (40 字以内)
- (3) 推薦理由 (①技術内容 (調査内容)、②開発背景、③従来技術および優位性、④技術賞では当該技術の実用実績、技術奨励賞では当該技術の実用化への取り組み)

組みまたは当該調査研究に関して期待される社会貢献について記載：2,000字以内)

- (4) 推薦者（氏名、住所、所属、電話番号、E-mail等）
(5) 参考資料等（文献、特許、新聞記事等）

提出期限 2025年11月17日（月）

提出先

（公社）日本水環境学会「技術賞および技術奨励賞」係
E-mail: award@jswe.or.jp

なお、過去の技術賞および技術奨励賞受賞テーマ一覧および歴代受賞者を下記URLの学会HPに掲載しています。
<https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/prizewinner.html>

「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優れた国際的な活動として選定されるものを「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成いたします。助成の対象者を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成対象 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動主体は個人、チーム、研究委員会などの団体のいずれでも構わない。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外の話題を対象としたシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会（オンライン含む）の開催、4) その他、本会・学会員の国際化の進展に資すると考えられる活動等。

助成内容（具体的な使途の例）

- ・調査・研究に係る消耗品等の支出
- ・研究集会等の開催費用（別予算との併用可）
- ・国際共同研究の成果をまとめた書籍等の出版にかかる費用（編集作業等の外注費含む、ただし営利目的の出版物は不可）
- ・物品の購入、ストレージ、輸送等にかかる費用
- ・旅費（別予算による出張等に付随して発生する場合を含む）

いずれについても、国際的な研究活動であり、本賞による支援の必要が明らかであること。

助成金額 総額 30 万円

助成期間 受賞から 2 年間以内

助成対象件数 原則として 1 件

応募締切・方法・提出書類等の詳細につきましては、WEB ページでご確認ください。

合否通知 選考結果については、2026 年 2 月までに応募

者に通知いたします。

その他 受賞者は 2026 年 3 月の年会会場で表彰します。受賞者には、活動終了後、活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 地域環境学講座、准教授、講師もしくは 助教（テニユア）の公募

募集人員 准教授、講師もしくは助教（テニユア）1 名
所 属 岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域地域環境学講座
専門分野 環境工学または土壌肥科学、とくに環境微生物の機能解析

採用予定日 2026 年 4 月 1 日（水）

応募方法 E-mail または郵送

応募期限 2025 年 10 月 20 日（月）必着

詳細 URL

（日本語）<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail/Changelang?id=D125081328&lang=0>

（英 語）<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail/Changelang?id=D125081328&lang=1>

問い合わせ先

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中 3-1-1

岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域地域環境学講座（担当：前田守弘）

第 44 巻 (A) 11 号 (2021) 特集企画編 「COVID-19 タスクフォースの活動成果と 産学官での社会実装に向けた動き」 別刷配布のお知らせ

この度、第 44 巻 (A) 11 号 (2021) の特集企画編「COVID-19 タスクフォースの活動成果と産学官での社会実装に向けた動き」の別刷を作成しました。当該企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、教育・公益的な目的でのご利用を希望する方へ別刷を無償配布いたします。

別刷をご希望の方は①会員番号（非会員の方は非会員とご記入ください）②所属 ③氏名 ④送付先住所 ⑤使用目的（具体的に）⑥希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール（kikaku@jswe.or.jp（@は半角））にてお申込みください。先着順に受け付けます。なお、今後 PDF 版の公開も予定しています。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

会員は、特集企画編「COVID-19 タスクフォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」（第 43 巻 (A) 12 号 (2020) 特集）、「地環研の躍動」（第 43 巻 (A) 2 号 (2020) 特集）、「水環境分野で働く若手たち」（第 41 巻 (A) 3 号 (2018) 特集）、「水環境分野で働く女性たち」

(第36巻(A)10号(2013)特集)にも残部(若干数)がありますので、ご希望があればご連絡ください。

日本下水道新技術機構

「2026年度下水道新技術研究助成事業」の募集

募集期間 2025年10月1日(水)～12月17日(水)
応募資格 大学、短期大学、高等専門学校に属する個人
または研究グループ(年齢不問)
助成件数 数件
助成金額 1件当たり年間200万×2年間(上限)
応募方法 所定の申請書に必要事項を記入し、電子メールにて提出(下記URL参照)
決定期間 2026年3月末
詳細URL <https://www.jiwet.or.jp/research-development/kenkyuujosei/grantapplicants>

問い合わせ先

公益財団法人 日本下水道新技術機構 研究第一部
担当：堂園・宮地・後藤・横森・宮崎
〒162-0811 東京都新宿区水道町3-1
Tel：03-5228-6597 Fax：03-5228-6512
E-mail grant@jiwet.or.jp

JST 地球規模課題対応 国際科学技術協力プログラム(SATREPS) 令和8年度 研究提案募集開始

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)は、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)において、令和8年度の研究提案を募集しています。

詳細情報 <https://www.jst.go.jp/global/koubo/index.html>

問い合わせ先

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)
国際部 SATREPS グループ 担当：土屋、森本
E-mail：global@jst.go.jp Tel：03-5214-8085

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム(J-STAGE)」に掲載しています。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>